



2020年11月6日

各位

会社名 レシップホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉本 眞
(コード番号：7213 東証・名証第一部)
取締役 執行役員
問合せ先 管理本部長 品川 典弘
(電話番号：058-324-3121)

2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月15日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕連結」において未定としておりました2021年3月期連結業績予想、配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	16,500	50	50	▲170	▲13.34
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	26,051	1,854	1,830	891	74.39

(2) 業績予想の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。この度、第2四半期連結累計期間の実績および現時点において入手可能な予測等を踏まえ、通期連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

今期 2021 年 3 月期の業績は、売上高、利益ともに大きく減少する見通しであります。

売上高につきましては、輸送機器事業において、下期以降も、首都圏バス用 IC カードシステムの更新需要の一巡により、バス用運賃箱や IC カードリーダーライタなどの売上が大きく減少する見通しであります。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による業界全体の設備投資の抑制により、バス市場向け製品全般の売上も低調に推移する見通しであります。また、産業機器事業において、自動車向けプリント基板実装の受託が、足元では回復傾向にあるものの、年間を通じては、前年実績を下回る見通しであります。

利益面につきましては、下期以降も、引き続き、全社的なコスト削減に努めてまいります、売上高の減少による影響が大きい為、減益となる見通しであります。

以上の状況を踏まえまして、今期 2021 年 3 月期の連結業績予想につきましては、売上高 165 億円（前期比 95 億 51 百万円減、36.7%減）、営業利益 50 百万円（前期比 18 億 4 百万円減、97.3%減）、経常利益 50 百万円（前期比 17 億 80 百万円減、97.3%減）を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、税金費用における税効果会計上の影響等により、1 億 70 百万円の損失（前期比 10 億 61 百万円減、前期は 8 億 91 百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）を見込んでおります。

2. 配当予想について

(1) 2021 年 3 月期配当予想

	年間配当金（円）				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	—	—	5.00	5.00
(ご参考)前期実績 (2020 年 3 月期)	—	0.00	—	8.50	8.50

(2) 配当予想の理由

2021 年 3 月期の年間配当予想につきましては、今期の業績予想が大変厳しい見通しとなることを踏まえまして、1 株当たり 5 円 00 銭を予定させていただきます。

当社といたしましては、株主様に対する利益還元を重要な課題のひとつとして位置づけており、今後も、財務体質の強化にも意を用いながら、継続的かつ安定的な利益還元を努めてまいりたいと考えております。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上